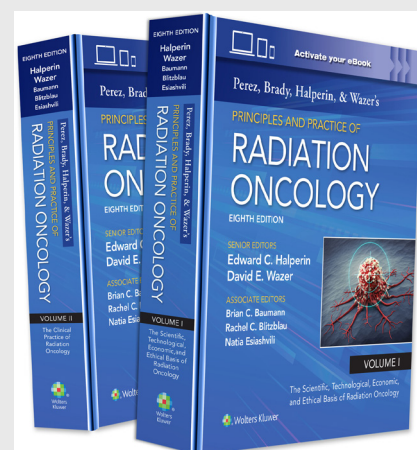


約40年にわたり、放射線腫瘍学分野における権威あるリファレンスとして臨床と教育を支えてきた「基準書」改訂第8版。生物学的・物理学的側面に加え、がん患者に対する集学的かつ学際的な治療管理に役立つ部位別の詳細情報を網羅する。放射線腫瘍専門医および研修医にとって、最も包括的で信頼性の高い参考書のひとつである。Edward C. Halperin医師とDavid E. Wazer医師の編集指揮のもと、Brian C. Baumann, Rachel C. Blitzblau, Natia Esiashviliの各医師が専門編集委員として参画。全面的な改訂を経て、新版はハードカバー全2巻構成で提供される。第1巻では「放射線腫瘍学の科学的・技術的・経済的・倫理的基盤」を、第2巻では「放射線腫瘍学の臨床実践」を取り上げる。

#### 本書の特長

- がん生物学、医療放射線物理学、臨床放射線腫瘍学、さらに放射線腫瘍学における経済、倫理、公共政策に関する最新の知見を包括的に解説
- がんの自然史、放射線の物理的および技術的応用法、正常組織に対する照射の影響、さらに放射線療法を単独もしくは多モダリティ治療の一環として用いる場合の最適な活用法に関する基礎的理解を提供
- 腫瘍の種類別に章を設け、疫学、病理診断、診断プロセス、予後因子、治療技術、手術・化学療法・免疫療法・生物学的療法の適応、最終成績などについて、包括的かつ実践的な臨床指針を提示
- 人工知能およびデータサイエンスに関する新章に加え、医学専門分野としての放射線腫瘍学の歴史を概観する章を収録。放射線腫瘍学の研修を始めたレジデントや臨床実習中の医学生にとっても有益な内容
- 緩和ケアや支持療法、非治療目的における放射線治療の役割など、新たなアプローチや技術に対する解説を強化
- 腫瘍の病因、診断、標的放射線療法に関する重要概念を視覚的に明示する、1,200点以上のフルカラーイラストを収載
- 放射線腫瘍学の発展の歩みを辿る、網羅的かつ信頼性の高い歴史的記述を掲載
- 放射線腫瘍医、研修医、放射線生物学者、医療放射線物理学者、腫瘍科医、物理学の研修生、放射線線量測定士、さらに放射線腫瘍科に勤務する看護師や医師助手にとって理想的な一冊



## **Perez, Brady, Halperin, and Wazer's Principles and Practice of Radiation Oncology, 8/e**

**Edward C. Halperin et al.**

08/29/2025

**ISBN: 978-1-9752-2126-3**

Format: Hardcover Multi Volume

Page Count: 2,482

JPN ¥74,789 (税込)

\*価格は変更することがあります